

シンポジウム開催のお知らせ

「再生可能エネルギーの環境問題と地方自治」

主催：公益社団法人 日本騒音制御工学会 環境騒音振動行政分科会

行政分科会は、地方行政の立場で、地方の様々な課題に向かい合うことを基本姿勢に据えて活動しています。

その中で最も重要である「住民合意を得る」ために、様々な立場のステークホルダーとの意見交換をとおして、互いの主張を聞く場を設け、課題の整理やその方策について検討していきたいと考えています。過去2回のシンポジウムでは、騒音というデメリットだけを見るのではなく、広い視野でメリットも含めてどうあるべきかを考える場を持ち(1回目)、その中で負の側面を少なくさせるための具体策(2回目)について展開してきました。

今回の企画は、地球温暖化や気候変動といったグローバルな課題に対し再生可能エネルギーへの転換が進む中、騒音や景観など地域環境への影響を懸念する声もあることから地域の住民の合意をいかにして得るか、考える場としました。

[期 日] 2019年8月8日(木) 13時30分から17時00分まで

[会 場] 中央大学後楽園キャンパス2号館 2階 会議室(2215室)

最寄り駅は、東京メトロ後楽園駅、都営線春日駅、JR水道橋駅

[シンポジウム内容]

1 趣旨説明及び自治体アンケート調査結果(行政分科会主査 門屋真希子)

2 招待講演

14時00分 「風力発電施設から発生する騒音について」

(環境省大臣官房環境影響評価課 専門官 會田 義明氏)

14時20分 「小型風力発電施設の立地及び騒音の状況」(株式会社エーアール 福原 博篤氏)

14時40分 「福島県の取組み」(福島県企画調整部エネルギー課 主任主査 植田 誠氏)

15時10分 「地域と連携した小田原市再生可能エネルギーの取組み」

(小田原市 環境部 エネルギー政策推進課 副課長 山口 一哉氏)

15時30分 「富士宮市富士山景観等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例」

(富士宮市環境部環境企画課環境エネルギー室 小林 寿恵氏)

15時45分 「再生可能エネルギーと社会的合意形成」(認定NPO法人環境エネルギー政策研究所 古屋将太氏)

3 パネルディスカッション(約50分)

再生可能エネルギーの導入に対する取組、住民との対話等

[資料代] (消費税込み) 資料代は当日お支払いください。

会員、学生及び行政 2千円、非会員 3千円

[申込方法]

申込みは、以下の申込内容を郵送、メール又はFAXのいずれかの方法により申込先に提出してください。

[申込内容]

参加者氏名、住所、所属、連絡先電話番号、FAX番号、電子メールアドレス

[申込先]

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-12-6

麹町グリーンビル 2F

公益社団法人日本騒音制御工学会

TEL:03-5213-9797 FAX:03-5213-9798

mail: gyouseibunke@ince-j.or.jp

[申込期限] 2019年8月6日(火)

[定員] 100名

